

始業式 式辞

平成30年度のスタートです。今年度も皆さんには色々な場面でお話をする機会があると思いますが、「5分」でお話することにします。では……ストップウォッチ！

修了式で私はあなた達に、給食のトレーを片付ける時の姿を例にとって「好奇心いっぱい2年生に『思いやり』が出てきた」と話しました。また、3年生には野球の試合と陸上の試合のエピソードを例にして「底力、パワーの学年は健在です」と言いました。

3月に入って間もないころの事です。私は、昨年度1年生の主任をお願いした堀井先生に「今年の2年生はパワー集団ですね。部活動だけ見たって、ソフト部、テニス部など、みんな県の上位にいらいますからね」というと堀井先生はムツとした表情になって、私に「1年生だってすごいです。男子テニス部は1年生がベスト4を独占しました。」と言いました。この時、私は堀井先生のあなた達2年生に対するちょっと気取った言い方ですが「愛情」を感じました。「2年生すごいですね」と言われたことに対してすぐに「うちの学年の子ども達だってすごいです」と真顔で言い返してくるからです。しかし、これは何も堀井先生だけではありません。あなた達は間違いなく学年の先生達に目いっぱい愛されて育てられています。

卒業式で私は、部活動や英語弁論での全国大会出場、黄菊祭で鶴見先生に涙を流させた学級合唱、そして、第一志望の進路先全員合格するなど、次々と実績を上げた卒業生に『あなた達は、どこへ出しても恥ずかしくない私の自慢の生徒達です』と話した事を覚えているでしょうか。そして、決して私が誇張して言っているわけでは無い事はあなた達にもわかると思います。卒業した先輩達は菊西中の三年間ですばらしく成長しました。

しかし先月、先輩達の後ろをここまで歩んできた2年生に思わぬ成長を感じた事があります。それは、離任式の時の生徒会長蒼くんの送別の言葉です。退職される先生がいたり、焼津市、藤枝市からの交流が終了してそれぞれ地元に戻られる先生が居たりしたため、大勢の先生達が本校を後にされました。しかし、蒼くんは適切な言葉で先生達一人ひとりのエピソードを簡潔に話しました。齊藤先生への「卒業式の後の先生のお話に感動しました」と言う言葉は、蒼くんが自分に話されたのではない言葉でもしっかりと自分のものとして聞いていた事を物語っています。また三送会であなた達が卒業生に送った「千切り絵」を私は3年生の全教室を周って見せて頂きましたが、そこには「今までありがとうございました」というあなた達の優しい気持ちがいっぱいでした。こういうと「オレは、そんなに深く考えて作った訳じゃない」という人がいるかもしれません。しかし、作品の上手下手とは別に、心の底にある「優しさ」は見ている人に訴えるかけるものがあります。それを私が感じたということです。

今まで何度もお話しましたが、私は高校理数科、大学理学部物理学科と理数系一筋の人間ですので、数式を計算したり、実験したりの方がお話しする事より10倍得意です。しかし校長という役目上、今日のようにあなた達にお話しする機会をたくさん頂いています。そのたびに私は話の上手下手より、お話に『私は菊西中の子

ども達が大好きだ。菊西中の子ども達は私の自慢の生徒達だ』という思いを込めようと強く意識しています。お話からあなた達が、私のメッセージを受け取ってくれるためには「話の内容」より「話に込めた思い」が大切だと思うからです。

さて本日、平成30年度がスタートします。「パワー満点の3年生」「好奇心いっぱいの2年生」はあなた達の学年カラーです。そして、それはあなた達が成長するための強力な武器となります。あなた達のパワー、好奇心を存分に発揮すれば部活動で全国優勝する事だって、志望校に全員合格する事だって、涙が止まらない学級合唱を作り上げる事だって、何だって可能だと思います。要は、みんなの気持ちを揃えられるかどうかです。去年も話しましたが「受験は個人戦、でも受験勉強は団体戦」「部活の試合は個人種目もある、でも練習はどの種目だって団体戦」だからです。「団結力のあるクラス」、「チームワークのいい部活」など、言葉はたくさんありますが、「どうしたらクラスは団結できるのでしょうか」、「どうしたらチームワークが高まるのでしょうか」私はクラスやチームのメンバー一人一人がどれだけ優しくなれるかだと思っています。去年の防災訓練の時の話を覚えているでしょうか？『東日本大震災が起こった時の避難所に子ども2人を連れた夫婦が避難して来ました。お弁当が配給されています。一人1パックのお弁当をお父さんは3パックだけもらって列を離れようとしてました。係の人が「一人1パックですよ」と言うとお父さんは「私達は3パックを4人で分けて食べます。できるだけたくさんの人に分けてあげて下さい」と言いました。』思い出しましたか？自分だって命からがら逃げてきた、おなかも空いている、でも「3パックを4人で分けます」と言う言葉はお父さんの「優しさ」だと言いました。そして同時にお父さんの「強さ」だとも言いました。『自分が苦しい時、他の避難民を思いやれる優しさを持ったお父さんは、命に代えても2人の子どもと奥さんを守りぬける強さを持っているのです』**本当の強さは優しさの中にある**とあなた達には何度も言いましたね。この話は午後の入学式で新入生にも話してあげる予定です。

あなた達持ち前の好奇心、パワーは「優しさ」と一緒になった時、本当に大きな力に変わります。そしてあなた達は誰にでも、何にでも、優しさを示せる私の自慢の生徒達です。来年の3月にはもっともっと優しく、そしてますます強くなったあなた達の姿を見られる事を楽しみにしています。この春休みに考えた一人一人の「新年度の目標」に向かってあなた達が「優しさ」と「強さ」を持って全力で立ち向かってくれる事を期待しています。

本日の午後、入学してくる新入生を含めて生徒536名と、ALTのデービー先生まで入れて、本校に勤務する先生達44人、合わせて580人の団体戦のスタートです。みんな菊西中の歴史に「平成30年度」という輝かしい1ページを付け加える事を約束して、平成30年度1学期始業式の式辞といたします。